

テーマ「南海トラフ地震に備えて～指定避難所と医療体制について～」

1年()組()番氏名()

問題 (Problem)

- ・松山市の人口に対しての避難所の数はどうなのか、全国の都道府県庁所在地を比べる。
- ・本校から3km エリア内の住民全員が指定避難所に避難可能かどうか調べる。

計画 (Plan)

- ・全国の都道府県庁所在地の人口を避難所（小学校・中学校・高校・公民館とする）の数で割った、避難所1カ所当たりの人数を調べる。
- ・本校から3km エリア内の住民数と指定避難所の収容人数を調べ、比較する。

データ (Data)

- ・SSDSE-2020A
- ・e-Stat 統計GIS (H27 国勢調査)
- ・改訂版 まつやま防災マップ 松山市ホームページ (令和2年12月1日確認)
(<http://www.city.matsuyama.ehime.jp/kurashi/bosai/bousai/keihatu/bousaimap.html>)
- ・松山市防災会議条例資料〔2・12・1〕指定緊急避難場所一覧(平成26年)(令和2年12月1日確認)
(<http://www.city.matsuyama.ehime.jp/kurashi/bosai/bousai/keikaku/H26tibou.files/siryou2.pdf>)

分析 (Analysis)

表1 黒線内エリアの統計結果

人口総数	207,828 人
合計収容可能人数	142,164 人
指定避難所	67 カ所

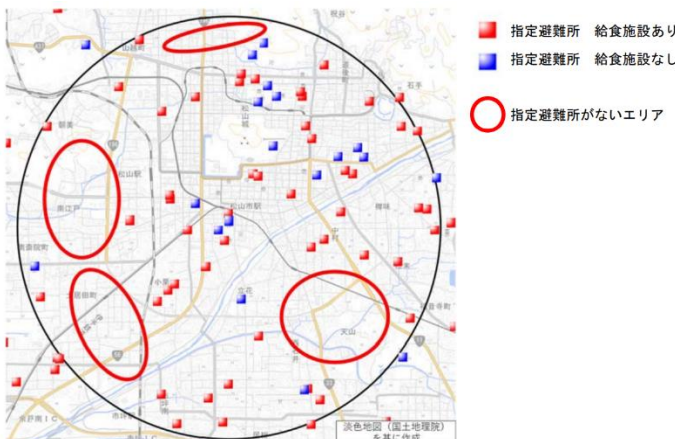


図2 統計GISに指定避難所をプロットした図

人口/避難所数

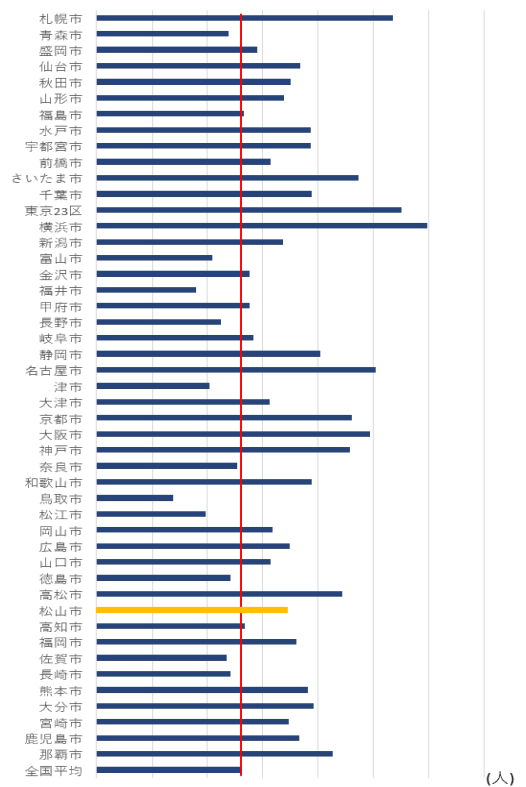


図1 避難所1カ所当たりの人数

結果 (Conclusion)

- ・図1から、避難所1カ所当たりの収容人数は全国平均よりも多いことが分かった。
- ・表1から、3人に1人が指定避難所に入れないことが分かった。
- ・図2から、指定避難所に空白地帯があることが分かった。